

事務事業名	夜間休日庁舎警備事業	所属部	総務部	所属課	総務課
政策名	総合計画体系 (VI) 推進計画・地域経営によるまちづくりの推進	所属G	総務G	課長名	稲田和久
施策名	(37) 時代にあった行政サービスの実現	担当者名	稲田和久	電話番号 (内線)	0854-40-1021 3542
基本事業名	(108) 業務と組織機構の見直し	予算科目	会計 款 項 目 01 1 1 0 0 5 3 0 0 2	中事業	庁舎管理事業

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	本庁市役所の閉庁時、夜間及び休日にあつては、業務委託により警備員を2名配置し、庁舎の警備、災害発生等緊急時の連絡、市民窓口での届出等の受付などの業務を実施する。 警備員は4人体制で、1日2名勤務の交代制。 ①年間の業務委託契約の締結、②毎月、業務委託費の月額支払、③日々の業務引継、④各部署との調整	合併前の旧木次町時代からの手法をそのまま引継いでいる。(現在の本庁舎は旧木次町庁舎である。)

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
庁舎管理業務委託料。	事業内訳						
	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円	7,743	7,181	7,197	7,197	7,197
	事業費計(A)	千円	7,743	7,181	7,197	7,197	7,197
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費						
警備員との連絡、協議。契約。委託料支払業務(毎月)。今後の庁舎警備のあり方の検討。	正規職員従事人数	人	2	2	1		
	延べ業務時間	時間	40	40	92		
	人件費計(B)	千円	153	156	363	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	7,896	7,337	7,560	7,197	7,197

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	⑤ 活動指標							
23年度実績(23年度に行った主な活動)	ア	夜間及び休日の警備日数	日	365	365	365	366	365
○業務委託契約の締結と委託費用の支払い事務	イ	業務委託費	千円	7,743	7,181	7,197	7,197	7,197
○警備員との日々の業務引継ぎ	ウ							
○業務の日々の調整	エ							
24年度計画(24年度に計画している主な活動)	オ							
平成23年度に同じ各総合センター警備との委託業務の調整を行う。								

② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	⑥ 対象指標							
市の組織体制	ア	警備員の数	人	4	4	4	4	4
③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	イ							
○夜間及び休日の窓口として、業務連絡や緊急時の対応をスムーズに行う。	⑦ 成果指標							
	ア	市民の評価=市民からの苦情	件	0	0	0	0	0
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	イ							
まちづくりの課題を主体的に解決する。	⑧ 上位成果指標							
	ア	市の行政サービスに納得している市民の割合	%	66.7	67	65.8		
イ								

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
○合併により木次町庁舎から雲南市暫定本庁舎となったことから、庁舎の機能権限、対象業務量、職員数は倍増し、警備員の業務範囲も拡大した。 ○住民ニーズも多様化しつつあり、休日の問い合わせも複雑になってきている。	特になし。	総合センターの見直しの中で警備の一本化が検討されてきたが、最終的にはセンターへ引き続き配置することになった。 市民環境部から窓口業務における各センターの実施方法について統一を図るよう求められている。

事務事業名	夜間休日庁舎警備事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 夜間及び休日における住民サービスの充実が必要。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 行政施設であり、市が行うべきものである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 現状は妥当な範囲である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 委託業務内容、委託費用の見直しにより、住民サービス向上の余地はある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 夜間、時間外の警備及び業務連絡体制の確保は必須である。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) 各総合センター警備業務と一体的な考え方をすることにより、連携の可能性はある。 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 各総合センターのあり方の基本方針に基づき業務体制の検討を行う。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 人材確保に苦慮しており委託料を現状以上に削減することは難しい状況にある。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 最小限の事務処理に係る人件費である。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	本庁舎の警備業務について、総体的に問題なく実施できた。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ○組織機構の見直し方針に基づき、本庁と総合センター間の委託業務内容と委託費用の見直しを行う。 ○各総合センター警備業務との連携のあり方について検討を行う。	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ○新庁舎完成後の警備体制について検討する。																							